

今回報告の定例会は



令和6年3月号

たてやま議会だより



未来に残したい館山の風景



海と共に飛ぶ

撮影：李穎多さん

12月定例会

案決
原可

市営25メートル室内温水プール及び
老人福祉センターの廃止
旧富崎小校舎棟無償貸付の他
補正予算など17件を議決



森市長
提案理由を説明

本会議
補正予算質疑

◇議案第80号 令和5年度
館山市一般会計補正予算（第
8号）

歳入歳出予算の補正として
歳入歳出それぞれ2億8千2
28万8千円を追加し、総額
261億4千417万4千円
とするものです。

問 防災行政無線整備事業に
ついて、屋外拡声子局の更新
はこれで完了ですか。



議員 石井敬之
また、今後
の防災行政
無線の運用
についての
考え方を伺
います。



答 昭和60年度から昭和63
年度に設置された屋外拡声
子局全14局のうち10局を令
和元年度から令和4年度にか
けて更新しており、今回の4
局で最後となります。

今後の防災行政無線の運
用ですが、平成19年度からデ
ジタル化事業の中で増設した
120局について、設置から
16年が経過し、故障発生頻
度が多くなると及び部品の
確保が難しくなることから、
更新が必要となります。今
後は、更新が必要なことを踏
まえて整備方針を検討してい
きます。

任
常
委
員
会

3つの委員会が所
管する部門や事務
に関する調査、付託
を受けた議案・請願
などを審査します。

総務

委員長 昇 長
望月 副委員長 ひとみ
鈴木 委員 宏一
石井 委員 聖二
佐野 委員 雄平
渡辺 委員 洋
東

付託議案5件
全員一致により原案可決

議案内容と主な質疑は次
のとおりです。

◇議案第77号 財産の無償
貸付について

問 旧富崎小校舎棟の無償
貸付について、地元住民の
同意は得られていますか。

答 民間提案制度の審査会
の審査委員に地元の方2名
が加わっています。優先交
渉権者の決定後、地元の区
長会に出向き説明を行うと、
「いつから実施するのか」、「
楽しみにしている」等の声
もあり、地元の理解は得ら
れていると考えています。

◇議案第80号 令和5年度
館山市一般会計補正予算（第
8号）

問 清掃センター設備改修
事業について、大規模改修
工事と同時に実施しなかつ
た理由を伺います。

答 非常用発電機の不具合
は8月の定期検査で見つか
ったため、大規模改修工事
と同時に実施できません
でした。



文教民生

市長 孝子 浩敬明
副市長 倉副 鈴木 田井 木澤
委員 田委 木員 田井 木澤
委員 倉副 鈴木 田井 木澤

度を見込んでいます。廃止後は、湊の施設は温水プールと一体で、建物を残したまま売却又は更地にしての売却を検討しています。出野尾の施設は検討中です。

◇議案第79号 指定管理者の指定について

問 「生活協同組合コープみらい」が指定管理者となつた経緯を伺います。

答 審査員7人の平均点で審査しており、審査項目によつては他者が優れていたものもありましたが、他の項目については生活協同組合コープみらいの方が優れていたためです。

◇請願第4号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国に求める意見書の提出に関する請願

問 館山市及び近隣の精神科病院数と精神科診療所数を伺います。

答 病院については館山市が2病院、近隣市町が3病院。診療所については館山市が6診療所、近隣市町が3診療所です。

問 過去に市内や近隣市町の病院、診療所において、虐待やセクハラ、パワハラなどがあつたか把握していますか。

答 虐待の件数は県で集約していますが公表されていないため、市では把握していません。なお、今まで市への相談はありません。



付託議案5件・請願1件
全員一致により原案可決及び採択
議案内容と主な質疑は次のとおりです。

◇議案第75号 館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 廃止する温水プールの代替プールの考えを伺います。

答 海上自衛隊、安房高校、セントラルスポーツクラブ、鋸南町B&G海洋センターと協議しています。

◇議案第76号 館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

問 施設の解体費用と解体後の方針について伺います。

答 概算で湊の老人福祉センターは8千700万円、出野尾は1千500万円程

問 有害鳥獣対策費について、現在までの捕獲頭数を伺います。また、今回の補正予算により、今後は不足が生じないのですか。

答 令和5年4月から11月末までのイノシシの捕獲頭数は、1481頭です。冬場は捕獲頭数が減る傾向ですが、今後増えた場合には補正予算で対応したいと考えています。

問 道路新設改良費について、今回の市道8043号線（安房グリーンライン稲交差点）の工事で、安全対策は十分ですか。

答 市道9052号線（二子地内）の供用にあたり、稲交差点に繋がる県道館山千倉線を閉鎖します。その対応について、千葉県警との協議の中で、安全面から市道8043号線の改良工事を行う必要が生じました。稲交差点は、道路幅員を広げて東側に線形を張るという完成形の計画もあるため、今回の工事は暫定的な整備です。

問 移住相談業務委託料について、債務負担行為にした理由を伺います。

答 同一事業者と10年近く随意契約を行ってきたことから、契約の透明性、中立性を確保するため、業者選定の方法を見直すとともに、年度当初からスムーズな事業が実施できるよう債務負担行為を設定しました。

【討論（要旨）】
議案第73号 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について

【賛成討論・渡辺雄二議員】

市職員の給与等の引上げは、物価の高騰や民間との格差を埋めるため必要と考えるが、市長等の特別職の手当の引上げには、昨今の市民の暮らしの経済状況をみれば、本来であれば反対である。しかし、市長・副市長・教育長の行政への真摯な取組や、懸命に市民や職員を守ろう、館山市を繁栄させようと苦慮されている姿には敬意を抱くので、市長はじめ、職員の益々の活躍を期待して本議案に賛成する。

建設経済

徳重 章一 春
委員長
谷川 信 光 正 邦
委員
長谷川 山 木 田
副委員長
石井 秋 鈴 安

付託・請願1件

◇請願第3号 市道404

0号線及び市道5025号

線の整備に関する請願

全員一致により採択

【請願要旨】

安房消防の西岬分署と神戸分遣所を統合する新分署が布沼地区の市道5025号線沿いに整備される。当該道路と館山湾側へアクセスする市道4040号線は、狭隘でカーブが多く迅速な消防活動に制約を与えない。地域住民の生命財産を守るため、早急な道路整備を強く要望する。

(西岬地区区長会)

問 地元区から市に対して、

具体的な危険箇所や整備の要望は出されていますか。

答 市道4040号線(見物区・小沼区)では、西岬地区から見通しの悪い2か所のカーブについて以前か



ら整備要望が出されています。市道5025号線(藤原区・伊戸区)では、坂井地内で道路排水と路肩の補修、洲宮地区では市道排水の流末の改修の要望が出されています。

問 統合分署の移転候補地となる際に、安房広域から館山市に対して、道路環境についての問合せや協議等がありましたか。

答 安房消防が現地を確認した結果、緊急車両の通行に影響がある13の危険箇所について、令和3年度に館山市に情報提供がありました。

問 13の危険箇所への対応について伺います。

答 令和4年度には、市道5025号線について、布沼地内の市道の路肩の舗装や見通しの悪いカーブの樹木の伐採、砂山付近の急カーブを解消するための測量設計業務委託を実施しました。令和5年度は、藤原地内の舗装の打替えや坂井地内での道路側溝の蓋かけと路肩改修のための測量設計業務委託などを実施しています。

問 小沼地区の2箇所の要望箇所の整備の優先順位について伺います。

答 優先順位はわかりませんが、整備するために設計等を行っています。用地も調べ、境界査定も行っていますが、一部、境界が決まらない箇所があることや、所有者と連絡が取れない状況もあります。海側のカーブについては、カーブを緩くするために延長60メートル、奥行き10メートル、高さ25メートルの山を削る必要があり、工事規模が非常に大きく、多額の費用を要



落石注意 (小沼)



見通しの悪いカーブ (小沼)

するため、実施に至りませんでした。今後は、経費を抑えるために、川側に盛土を行うことで道路を広げるという検討を行っています。

追加議案

定例会最終日の追加議案補正予算2件、原案可決
 主な議案と質疑応答は次のとおりです。

◇議案第83号 令和5年度館山市一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ6億3千417万3千円を追加し、総額267億7千834万7千円とするものです。

歳出の内容としては、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者支援として、住民税非課税世帯給付金等で5億2千156万3千円の増、市内経済の早期回復を図るため、域内消費を喚起するキャッシュレス決済ポイント還元事業補助金で4千万円の増額等をするものです。



(5) たてやま議会だより

◇議案第84号 令和5年度館山市一般会計補正予算(第10号)

歳入歳出それぞれ392万7千円を追加し、総額267億8千227万4千円とするものです。

歳出の内容は、消防費で千葉県が指定する急傾斜地崩壊危険区域(那古山)において、崩落の危険性が高まっていることから、その対策を検討するための調査費用で392万7千円を増額するも

問 キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施することになった経緯を伺います。

答 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により、落ち込んだ地域経済の早期回復を図ることを目的とし、物価高騰に苦しむ生活者・事業者に対し、一刻も早く支援策を講じる必要があることから、早期の実施が可能なキャッシュレス決済ポイント還元事業を行うものです。



望月昇議員

◇発議案第3号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会の勧告に準じ、期末手当の支給月数を引上げる改正をするものです。

◇発議案第4号 館山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について



発議案を説明
石井議会運営委員長

発議案3件 原案可決

発議案

のです。その他、繰越明許費の補正として、年度内に完了しない見通しとなった急傾斜地崩落対策事業を追加するものです。

◇発議案第5号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国に求める意見書の請願第4号の趣旨による



発議案を説明
倉田文教民生委員長

地方自治法の改正により議員の兼業禁止規定が緩和されたことを受け、議員が館山市に對する請負の状況について透明性を確保し、議会運営の公正を図ることなどを目的として制定するものです。



崩落箇所 那古寺 大黒堂付近

令和5年第4回 定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決	結 果
議案第73号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第74号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	原案可決	全会一致
議案第75号	館山市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第76号	館山市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第77号	財産の無償貸付について	総 務	原案可決	全会一致
議案第78号	和解について	総 務	原案可決	全会一致
議案第79号	指定管理者の指定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第80号	令和5年度館山市一般会計補正予算(第8号)	総 務	原案可決	全会一致
議案第81号	令和5年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教民生	原案可決	全会一致
議案第82号	令和5年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)	文教民生	原案可決	全会一致
議案第83号	令和5年度館山市一般会計補正予算(第9号)	—	原案可決	全会一致
議案第84号	令和5年度館山市一般会計補正予算(第10号)	—	原案可決	全会一致
発議案第3号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決	全会一致
発議案第4号	館山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	—	原案可決	全会一致
発議案第5号	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国に求める意見書について	—	原案可決	全会一致
請願第3号	市道4040号線及び市道5025号線の整備に関する請願	建設経済	採 択	全会一致
請願第4号	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国に求める意見書の提出に関する請願	文教民生	採 択	全会一致

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

年齢は
1月1日現在

教職員の療養休暇代替職員の現状を問う

問 市内の小中学校教職員が、療養休暇を取得した場合の対応及び学校現場の人手不足に対する人材確保の具体的な対策について伺います。

答 教職員の療養休暇については、30日以上療養休暇取得者は増えており、体調だけの問題ではありませんが、郡内を含め数名の退職者がいます。欠員の代替については、派遣されなかった学校では、教頭や他の職員が学級担任をしたり、授業を受け持つことで対応しています。

人材確保については、県教育委員会と連携して、高校生や大学生向けの出前講座の実施や、千葉大学教育学部と連携した取組、小中学校への体験ツアーの受入等を行っています。

解説 校務支援システム導入により教職員の仕事量の減少に繋がります。先生方が、元気に子どもたちと向きあえるよう教育環境の整備を更に進めていく必要があります。



鈴木 順子議員
9期目・73歳・下真倉
じゅん風
(文教民生委員会副委員長)

北条海岸の養浜の崩落について

教職員の欠員対策として、代替もなく忙しい教職員に負担を強いることになっていきますが、人材確保を、国費、県費負担の拡大で教育に責任を果たしていく必要があります。

問 北条海岸の三軒町無料休憩所前の養浜の度重なる盛砂の崩落について、危険性を訴えてきましたが、事業主体である千葉県からは、どのような説明を受けていますか。

答 千葉県に確認したところ、「護岸施設の維持管理を行うために、浸食対策として、今後も継続して養浜事業を行う予定」との回答でした。

解説 「日本の夕陽百選」であることや、市民、観光客など多くの人が足を運ぶ場所です。養浜事業が必要であれば、理解を得るように景觀に配慮した説明、パネルの設置を求めます。



北条海岸の状況

学校給食費無償化について

問 県内の学校給食費無償化の実施状況と、子育て支援のため第一子から学校給食費を無償化できないか伺います。

答 県内54自治体のうち53自治体において小中学校の学校給食費無償化を実施しており、その内12自治体は完全無償化を実施しています。第一子から学校給食費を無償化するのには館山市の財政状況では難しいと考えています。なお、国では「こども未来戦略方針」等で学校給食費無償化への検討が始まっているので引き続き国・県の動向を注視していきます。



渡辺 雄二議員
1期目・51歳・八幡
日本共産党
(総務委員会委員)

声の広報について

解説 県や市は、多子政策として第三子からの学校給食費無償化を実施していますが、子どもの貧困問題や物価の高騰もあり、学校給食費無償化のニーズは高まっています。国・県・市には、「子育て支援」として、学校給食費無償化を財源を確保して実施してほしいと思います。

問 「声の広報」の発行意義と活動環境の改善について伺います。

答 声の広報を発行している朗読ボランティア「麦の会」の皆さんは、利用者が聴きやすく、理解しやすいように工夫して朗読されています。これまでも、「千葉県福祉広報コンクール」での知事賞の受賞や厚生労働大臣から感謝状を贈られています。市としても、視覚に障害をお持ちの方々にも広く行政情報を届けることができているので大変感謝しており、市の財産であると思っています。「声の広報」の活動環境については、麦の会、社会福祉協議会と市の三者で協議し、改善できるところは対応したいと考えています。

解説 「麦の会」は視覚に障害をお持ちの方々、「声」という形で市の広報に御尽力をいただいています。しかし、活動環境については部屋の広さに不足を感じます。そのため、代替えの部屋の用意など、活動しやすい環境の提供を要望しました。

災害時の避難所について



鈴木ひとみ議員
2期目・64歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会副委員長)

問 館山市防災マップの「2時避難場所」、「指定緊急避難場所」、「指定避難所」、「指定緊急避難場所兼指定避難所」、「津波一時避難ビル」など、混乱しやすい名称が市民に理解されていますか。

答 名称が皆様に十分な理解が得られていないのではという指摘はそのとおりであると思います。大きく「避難場所」と「避難所」の2つに分類していますが、災害の危険から命を守るために緊急的に避難する「避難場所」と、住家に被害を受けた方などが一定期間の避難生活過ごす「避難所」について混同されることが度々見られます。用語の周知だけでなく、「災害の種別に応じてどこに避難するか」をより具体的に理解することが大切ですので、今後も周知・啓発に努めていきます。

- 指定緊急避難場所**
- 指定避難所**
- 指定緊急避難場所兼指定避難所**

館山市の観光戦略を問う

解説 「避難場所」、「避難所」などの名称は混同されている場合が多いです。分かりやすい情報を伝えるとともに、津波の際の防災マップを市民の目につきやすい場所に掲示するなどして、普段から「いざという時」の行動を市民が意識できるよう周知していくことが必要であると思います。

問 館山市はどのような観光戦略を持っていますか。

答 「館山ならではの」「館山でしかできない」「館山らしさ」を追求し、広く発信するとともに、来訪者のニーズに対応した満足度の高い観光地を目指し、各種イベントの開催や観光情報の発信等を実施しています。また、館山若潮マラソンや館山わかしおトライアスロンといったスポーツイベントや合宿によるスポーツ観光の推進を図っています。

解説 館山最大の観光資源は豊かな自然環境で、それを生かした様々なアクティビティや癒しの空間が魅力と考えます。関西圏でのプロモーション、台湾に限らず欧米やオーストラリアも視野に入れたインバウンドの誘致を行えば、宿泊客を増やせるのではないのでしょうか。それに合わせた受入体制づくりも進めてほしいと思います。

市役所新庁舎建設を問う



望月昇議員
4期目・66歳・北条
新政クラブ
(総務委員会委員長)

問 現庁舎の耐震と設備の不具合について伺います。

答 現庁舎は平成20年度から平成24年度までの間で耐震改修工事を実施し、10年ほど経過していますが、設備の不具合は発生していません。

問 現庁舎の今後の使用期間について伺います。

答 必要なメンテナンスを実施すること、10年程度は使用可能と考えています。

問 新庁舎建設の検討状況について伺います。

答 現庁舎の状態を考えても、令和14年度の移転という目安は維持し、まずは基本となる新庁舎の候補地の洗い出しを進めるよう取り組んでいるところです。旧県立安房南高等学校校跡地を第一候補地と考えていますが、この先、館山警察署や安房合同庁舎の移転後の跡地の利活用も控えています。館山市としては、まちづくりの観点からも、これらの跡地利用の在り方を検討する必要があると思います。

すので、新庁舎の建設地として可能性のあるものについては、様々な角度や視点からの検証が必要であると考えています。

問 資金計画について伺います。

答 新庁舎建設には多額の事業費が想定されますので、新庁舎の建設地、規模、構造及び必要な機能等の検討に併せて、必要となる財源や活用できる交付金などを含めて具体的な資金計画に取り組んでいきます。

解説 元日に能登半島地震が発生しました。震度7を記録した輪島市では、2021年に市庁舎の耐震と防災機能を高めるための改修工事が終わり、その効果もあり大きな被害は免れたようです。

館山市では、耐震工事を終わっていないとはいえ、築60年を経過した庁舎を使用しています。

市民の生命・財産を守る危機管理の要となる堅牢な新庁舎の早期建設を改めて感じました。



築60年を経過した現庁舎



瀬能 孝夫議員
4期目・66歳・佐野
公明党
(建設経済委員会委員)

女性デジタル人材

育成事業について

問 女性の雇用創出を目的として、デジタルスキルを習得するデジタル講習の実施について伺います。

答 市としては、仕事と家庭を両立する希望に応えられるよう、それぞれのライフスタイルに合わせて働ける環境づくりを推進していくとともに、女性に限らず、ハローワーク館山、千葉県及び館山商工会議所等の関係機関と連携しながら、デジタルスキルを習得できるセミナー等の実施を検討していきたいと考えています。

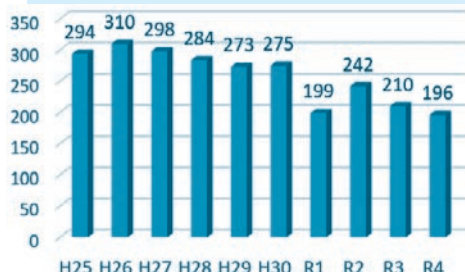
解説 女性は結婚による移住や子育てに伴い離職するケースが多くあり、新たに働く際には非正規雇用などで経済的に厳しい面も考えられます。一方で女性の労働力も求められており、デジタルスキルを習得することで経済面や雇用環境の安定及び生産性向上への効果等が期待されます。館山市も、キャリア形成の支援に繋がる当該事業を、是非とも展開してほしいと思います。

低出生率への対策として 結婚の推進について

問 日本の出生数の減少には、婚姻数の激減が考えられます。行政としてお見合いの場を提供するなど、結婚の推進について伺います。

答 結婚を希望している人に出会いの場を提供することは有効であると考えます。県内では「かずさメタバース婚活」や、「きさらづメタ婚活」等が開催されました。市としても、先進的な事例やその効果・課題を検証し、有効な手段を模索していきたいと考えています。

解説 婚姻数は1972年の110万件から現在50万件、出生数も200万人以上から80万人以下にまで激減し、合計特殊出生率は1・26、男性の未婚率は28・3％で、世界に類を見ない「超独身国家」と言える状況です。しかし、結婚を希望する人は8割を超え、実際の子ども数は2・0人前後です。このことから、低出生率は結婚の減少が要因であり、婚姻数の増加へ向けた施策が極めて重要になると考えます。



館山市出生数推移 (市 HP)

脱炭素と

地域活性化について



東 洋平議員
1期目・39歳・長須賀
市民クラブ
(総務委員会委員)

問 地球規模の気候変動で脱炭素と経済成長の両立が叫ばれています。CO2削減量を国が認証し、売買できる「Jクレジット」に注目が集まっていますが、その創出について見解を伺います。

答 官民を問わず、あらゆる事業活動で省エネや再生可能エネルギーの利用、施設管理運営の効率化、事業の見直しなどに可能性が潜在していると認識しています。

解説 世界中で温暖化対策の実行力が問われる近年、脱炭素市場が急速に拡大しています。海山の資源に恵まれた館山では、特に農林水産業、建設業、観光業などに好機です。市の地球温暖化対策実行計画に生かす他、「ゼロ・カーボンシティ宣言のまち」として官民で情報を共有し、活性化につなげるよう要望しました。

沖ノ島環境保全 協力金について

問 今年も7月15日から51日間で受け付けられた沖ノ島環境保全協力金は、平成29年度以来最多の1306万円に上りました。現在の使途や、協力金増加の展望を伺います。

答 協力金の使い道ですが、沖ノ島海水浴場の開設の経費、トイレなど施設の維持管理費、協力金受領の経費などの他、沖ノ島公園再生活動支援事業補助金などに充てています。

今後の展望については、市内の賛同する協力事業者で特典が受けられる取組を積極的に周知するなど、協力金に賛同いただく方の拡大を目指します。

解説 期間中の駐車台数2万6千台に対し、約半数の来訪者が協力されています。条例を制定するなど、市の環境保全への姿勢を示して協力者を拡大し、経費負担の軽減だけでなく、積極的な環境保全活動による、さらなるリピーター増加の好循環を生み出すべきだと考えます。



協力金をお願いするスタッフ



本澤 栄里子議員
1期目・57歳・船形
新政クラブ
(文教民生委員会委員)

子育て環境の充実について

問 保護者が育児休業期間中でも、引き続き保育園を利用できる期間の延長について伺います。

答 館山市は、周辺の市町と比較すると、年齢によっては短い期間となっていますが、その理由は、年度の後半になると保育施設の入所を希望していても、入所できない子どもが発生してしまいます。そのため、6カ月を超える育児休業を取得する世帯の園児には、一旦退所していただき、保育がより必要な子どもに利用していただく仕組みとなっています。

解説 館山市の育児休業中の園児の継続利用6カ月は、国の定める育児休業原則1年より短く、これは保護者にとっては大きな負担になります。また、子どもにとっても、退所は園のお友達や、先生との関わり合いの機会を失うこととなります。「切れ目のない子育て支援強化」を基本目標としている館山市に、育児休業期間中の継続利用の延長を要望しました。

不登校児童生徒への支援について

問 不登校の児童生徒に対して、新たな支援やプログラムを提供する必要があると思いますが、不登校特例校の設置の推進について伺います。

答 不登校の原因は様々であるため、専門機関と連携し、個々の状況に応じた対策を行っています。また、教育支援センターの機能を拡充し、個別の対応ができるスペースも確保しました。不登校特例校については、既に館山市でも調査研究を始めており、県教育委員会が主催する不登校特例校に関する会議に出席し、意見交換を行ってきたところです。引き続き、不登校児童生徒へ教育機会を確保するための様々な方策について、具体的に検討していきます。

解説 年々増加傾向にある不登校児童生徒への支援の在り方について具体化し、進路や社会的自立のために効果的な対策を検討していただきましたと要望しました。



Q 不登校とは？
A 病気やけが等を除き1年間に30日以上登校しなかった場合をいいます。
(参考)
令和4年度 市内の不登校児童生徒数
小学校 29人
中学校 32人
(議会答弁より)



鈴木 明子議員
1期目・64歳・山荻
公明党
(文教民生委員会委員)

ジェンダーギャップ解消への市の取組について

問 男性職員の育児休業取得の推進対策について伺います。

答 管理職の研修の中で男性職員の育児休業について触れるなど、職場において取得しやすい環境整備に努めています。



解説 管理職の意識付けは重要ですが職場全体の雰囲気づくりも大切です。男性職員が育児休業を取り、積極的に家事育児に携わっていくことが夫婦・親子の絆を深め、少子化の改善にも繋がるのではないのでしょうか。

問 女性職員の管理職登用について伺います。

答 女性の活躍を推進するうえで重要なことと捉えており、男女の区別なく管理職登用を行っています。

公共施設の男性用トイレボックス設置について

解説 人口の半分を占める女性の視点を都市計画や社会問題の解消や、整備に活かすべきです。特に災害時やコロナ禍のような非日常的な事態が発生した場合、女性でなければ気づくことのできない点が多くあると思います。その解決には職場や地域において力ある立場に女性の配置が必要で

問 男性用トイレに使用済み尿漏れパッドや紙オムツを捨てるサニタリーボックスの設置について伺います。

答 現在、設置はありませんが、まずは多くの市民が利用する市役所とコミュニケーションセンターの多目的トイレへの設置を検討していきます。

解説 前立腺がんや膀胱がんを患った男性が使用済み尿漏れパッドの廃棄に困り、外出を控えていることが考えられます。また、トランスジェンダーの方への配慮としてもサニタリーボックス設置は必要ではないでしょうか。誰もが安心して外出できる環境整備の一つとして設置を求めます。



鈴木 正一議員
5期目・72歳・神余
新政クラブ
(建設経済委員会委員)

農業の活性化について

問 農業の担い手育成に関する取組を伺います。

答 館山市の農家数の現状は、平成22年に1659戸あった農家が、令和2年には1127戸となり、この10年間で532戸、率にして32パーセント減少しました。一方で65歳以上の高齢者の占める割合は74パーセントへ上昇し、急速に農家の高齢化が進んでいます。現在、就農後の定着を図るために、50歳未満の新規就農者に対する経営開始資金の交付や、機械・設備の導入費用を補助する「経営発展支援事業」などの国の各種事業を活用し、4名の新規就農者を支援しています。

道の駅 グリーンファーム 館山について

問 2月16日の開業に向けた準備状況について伺います。

答 開業準備は順調で、建物や外構工事は概ね完成し、年内には引渡しとなる予定です。運営面での準備ですが、物販における出荷登録者は、



グリーンファーム館山 内覧会 12/25

有害鳥獣対策について

問 今年度の捕獲頭数と焼却状況、ジビエの販路について伺います。

答 捕獲頭数は11月末で1481頭、前年同時期と比較し約2倍、有害鳥獣焼却処理施設への搬入が581頭、館山ジビエセンターでの引取が371頭となっています。ジビエの販路については、市内外の飲食店への卸販売のほか、スライス肉や加工品などの小売販売も強化しており、ふるさと納税の返礼品としても取り扱っています。また令和6年2月オープンした道の駅グリーンファーム館山では、レストランや軽食コーナーでの取扱を予定しています。

農家の生産者が115名、加工品業者等が32事業者おり、去る9月25日には、生産者協議会の設立総会が開催され、役員の選出や出荷に対する考え方などが説明されたところです。

事業仕分けについて



石井 敏宏議員
4期目・51歳・上真倉
緑風会
(総務委員会委員)

問 9月に実施した市民判定人方式の「事業仕分け」は、行政の効率性と市民福祉を両立する効果的な事業評価であると感じました。次年度以降も継続すべきと思いますがいかがですか。

答 今回の事業仕分けの目標は、「事業仕分けを通じて、市民と課題を共有し、持続可能なまちにするために市民の力を借りて、事務事業を見直すことで歳出削減に繋げる」とでした。12年振りの開催で、初の市民判定人方式による実施でしたが、参加した市民判定人の8割以上から、「参加して良かった」、「市の事業への関心度が高まった」といった声をいただき、事業仕分けの効果を実感しました。市民の皆様のを借り、事務事業を見直すきっかけとなったことは、事業仕分けの成果と感じています。

市民判定人方式の事業仕分けは、市民の中から無作為抽出で判定人が選ばれるため一部の関心層だけではなく、より広範な意見が反映されま

す。また、これまで行政との関わりが少なかった住民にとって、政治・行政を「自分ごと化」とした意識を持つきっかけとなります。これらの面からも、事業仕分けは、今後も実施していきたいと考えていますが、今回の実施が12年振りであり、まずは、今年度の事業選定から実施手法まで見直す点がないか確認が必要です。また、事業仕分けの結果を次年度の予算編成に反映することを考慮すると、実施時期についても見直す必要があると考えます。併せて、事業仕分けを実施する間隔についても行財政改革委員会の中で検討していきたいと考えています。

事業仕分け結果(一部)	補助金3事業	観光振興支援事業補助金	要改善
		市民協働事業補助金	要改善
		環境保全団体支援事業補助金	不要・凍結(統合可)
	植栽関連事業	市道植栽管理等維持事業 観光地美化事業委託料 花のまちづくり事業(うち植栽事業) 地区花壇運営事業	要改善
	博物館運営費	館山市立博物館(本館)	現行通り・拡充



事業仕分けの様子

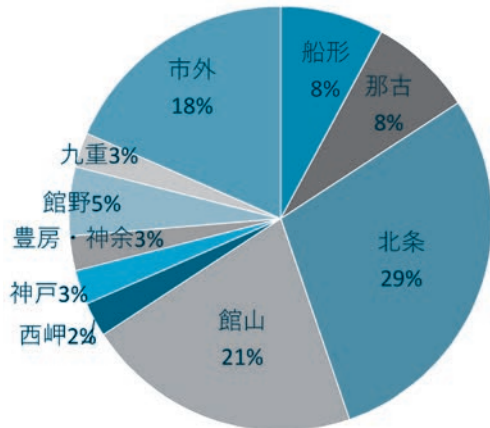
議会報告会 アンケート結果の概要

- ◇開催日 令和5年10月28日(土) 館山市役所本館2階会議室
- ◇参加者 57人(午前32人/午後25人)
- ◇アンケート回答 38人
- ◇内 容 ①常任委員会の審査報告 ②意見交換 テーマ「公共施設の再編」



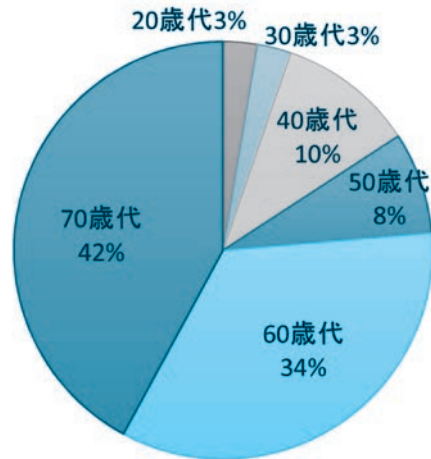
報告会の詳細はこちら

お住いの地区



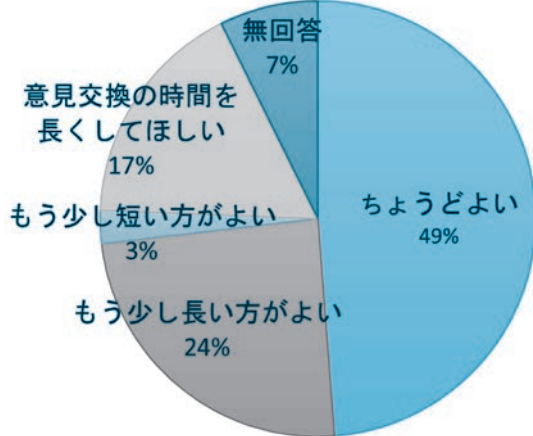
- ・5割が北条・館山地区でした。
- ・市民の声を広く聞くためには、多くの地区から参加できるような工夫が必要です。

参加者の年代



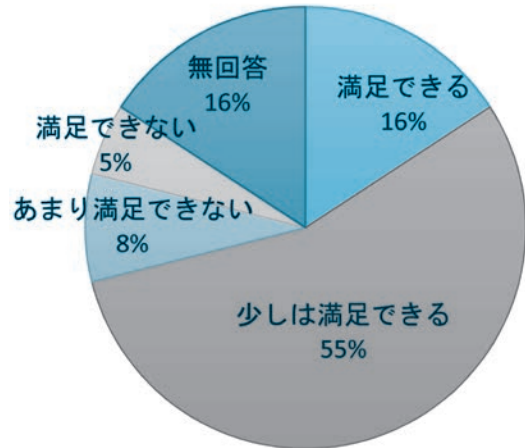
- ・60歳以上の方が全体の7割以上となっています。
- ・若年層の参加者を増やすための工夫が必要です。

開催時間(90分程度)について



- ・「ちょうどよい」が約5割の一方で、「もう少し長い方がよい」と「意見交換を長く」が合わせて4割を超えています。
- ・時間配分の工夫が必要です。

議会報告会の満足度



- ・「満足できる」と「少しは満足できる」の合計が7割以上となっています。
- ・自由意見では「運営方法の改善」が多数ありました。

【自由意見(全53件の一部)】

- ・委員会の報告には、もう少し議論が活発になるような工夫が必要なのではないか。
- ・意見交換「公共施設の再編」について、テーマを設定した話し合いは良いと思います。
- ・今日のような形で意見を出し合うことは大切なことですので、これからも続けてください。
- ・議題のたたき台のようなものがあった方がよい。何もなく「意見をどうぞ」と言われても意見はなかなか出ないのでは。結局盛り上がりなく低調に終わってしまうのではないのでしょうか。
- ・市の会議室に来られる方は良いが、地元の公民館でもこのような報告会をしてほしいと感じました。
- ・報告の際、原稿を読むことも大切ですが、私どもを見て話す努力をしていただけると良いです。せっかくの機会ですから「双方向であること」を実感したいです。

市議会情報掲示板を設置

市議会では、議会基本条例に掲げる「市民に開かれた議会」、「市民参加を推進する議会」などの取組の一環として、市役所玄関ロビーに市議会掲示板を設置しました。

【掲示内容】

- ・議員プロフィール（写真、当選回数、所属委員会、会派等）
- ・議会活動の紹介（記事・写真）
- ・直近の定例会日程
- ・市議会ホームページへのQRコード

掲示板は、市役所を訪れる皆さんに市議会を今までよりも身近な存在として考えていただきたいとの思いで始めたものです。今回の取組が、少しでも市議会活動の認知度向上につながれば幸いです。

広報広聴委員会



市議会 見たい・知りたい

YouTube 市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（中継の2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。



LINEで 簡単に情報GET

館山市の公式ラインに登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



議場で傍聴 3月定例会の日程（予定）

開 会 日：2月26日（月）午前10時～
一般質問：2月29日（木）午前10時～
3月 1日（金）午前10時～



たてやま議会だより 表紙写真 募集中！



☆募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

☆応募資格

どなたでもご応募できます。



☆応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

編集後記

新しい年が始まりました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され1年が経とうとしています。社会活動もコロナ禍以前に戻り、議会や議会報告会も制限がなくなり、活発な質疑応答や意見交換ができました。皆様には、議場での傍聴の他、外部配信をしていますので多くの方に視聴いただけたらと思います。

さて、館山市は人口減少、少子化により学校再編が余儀なくされています。昨年、学校再編計画の素案が公表されました。現在、各地区への説明会や保護者との意見交換が行われています。議会でも動向を注視し、議論を深めていきたいと思っています。

今後多くの市民の皆様から市議会に対して御意見をいただけることを期待しています。

（長谷川秀徳）

【広報広聴委員会】

委員長 瀬能孝夫
副委員長 石井敏宏
委員 秋山光章 鈴木正一
鈴木ひとみ 倉田孝浩
長谷川秀徳 安田邦春

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで、電話またはメールでご連絡ください。（下記参照）



たてやま議会だより ●No. 144 ●発行／館山市議会 ●〒294- 8601 館山市北条1145- 1

●電話0470- 22- 3527 ●議会事務局メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp